

神戸大学大学院 池田秀範

卒業設計 「風景の中へ溶けていく-山の辺風景伝承の里-」

毎日・DAS学生デザイン賞への学校推薦作品



奈良県にある秀麗な山、大和三輪山
人の暮しは、いつも三輪山の風景と共にあった
暮らしが豊かになるにつれ、風景と人の生活は乖離し始めている。
もう一度、人と風景をつなぐため
この風景を造り上げる要素を人が行き交う「山の辺」に落とし込む。
建築による領域の操作により
風景を再認識させ新しい価値観を共有する事をめざした文化施設である。
そこで起こる活動も新しい風景となるような計画。
これは、風景の更新の提案。

